

## 地理Aシラバス

科目名	単位数	学年	必修・選択	対象学科	備考
地理 A	2	2	選択必修	体育科	

### 1. 科目概要および目標

現代世界の地理的な諸課題を地域性を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きる日本人としての自覚と資質を養う。

### 2. 成績評価

中間考査や期末考査を重視して評価するが、平素の授業態度や提出物・小テストも加味して評価する。追試は原則として行わない。

定期テスト	60	%	その他テスト等	20	%	授業・提出物	20	%
-------	----	---	---------	----	---	--------	----	---

### 3. 使用教科書・教材

帝国書院 高等学校 新地理A  
帝国書院 新詳高等地図  
帝国書院 高等学校 新地理Aノート

### 4. 授業の展開と形態

講義形式と作業、まとめ学習を織り交ぜた授業が中心である。地理の学習で重要な地形図の読図や統計資料（降水量や生産高などの）を使った学習、主題図作成（いわゆる白地図作業）も行う。できれば簡単な「地理野外調査」も実施したい。

### 5. 学習方法

教科書や授業で学習する内容を理解することが最も重要である。しかし、地理Aでは取り扱う範囲が「世界地理」が中心となるので日本地理や郷土の地理（沖縄の地理）、さらに身近な地域（字（あざ））の地理的事象（たとえば商店街はどこに集中しているかやどういった仕事に従事している人が多いかなど）にも関心をはらい、積極的に学ぶ姿勢が強く求められる。

### 6. 履修上の留意点

#### (1) 科目選択をする際考慮すべき事項

地理学習の基礎は「地図に親しむ」ことである。世界地図を見て主要国をすぐに答えることのできる能力は必須である。また日本の都道府県や沖縄県の市町村は全て覚えておくことが望ましい。

#### (2) 就職・進学試験等と関連しての注意事項

地理は最も古い歴史をもつ学問の一つで、「日常生活」を学習舞台としている。それゆえあらゆる学問の内容を含んでおり、進学や就職はもちろん、人生の折りにふれて役に立つことであろう。

年間授業計画

那覇西高等学校

月	章	節	単元	配時	マーク欄
4月		授業開き	授業開き (オリエンテーション) 世界各地の概観	4	/
5月	第1部 <1章> 地球儀や地図からとらえる現代社	1節 地球上の位置と国家	1. 地上の現象と地球上の位置 2. 経度の違いと時差 3. 球面と平面の世界 4. 国家の領域と国境 5. 日本の領域と領土問題	1 1 1 0.5 0.5	/
		2節 グローバル化が進む世界	1. 結びつきを強める現代世界 2. 世界を結ぶ交通 3. 世界を一つに結ぶ通信 4. 拡大する世界の貿易 5. 観光の国際化と人々の移動	1 0.5 0.5 0.5 0.5	/
◎定期考査(中間)					
6月	<2章> 人間生活をとり巻く環境	1節 生活に影響を与える環境条件とは		0.5	/
		2節 人々の生活と地形	1. さまざまに変化する大地と生活 2. 世界の大地形と人々の生活 3. 山地・平野の地形と人々の生活 4. 海岸の地形と人々の生活 5. 氷河地形・カルスト地形・乾燥地形と人々の生活	0.5 1 1 1	/
7月		3節 人々の生活と気候	1. 生活と気候のかかわり 2. 熱帯の気候と人々の生活 3. 乾燥帯の気候と人々の生活 4. 温帯の気候と人々の生活 5. 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	0.5 5 1 1 1	/
		4節 人々の生活と産業	1. 生活を支える世界の農業 2. 生活を支える世界の工業	0.5 0.5	/
		5節 人々の生活と文化	1. 生活と宗教・言語のかかわり 2. 生活・文化のグローバル化	0.5 5	/
◎定期考査(期末)					
9月	<3章> 世界の諸地域の生活・文化	1節 中国の生活・文化	1. 中国の自然環境 2. 中国の歴史と社会 3. 13億人の食を支える農業と農民 4. 急進する工業と資源・環境 5. 生活の変化と格差の拡大	0.5 5 1 5 5	/
		2節 韓国の生活・文化	1. 朝鮮半島の自然環境 2. 韓国の歴史と日本との交流 3. 産業の発展と生活の変化	0.5 5 1	/
10月		3節 東南アジアの生活・文化	1. 東南アジアの自然環境 2. 東南アジアの歴史と民族 3. 東南アジアの農業とその変化 4. 工業の発展とASEAN	0.5 5 1 1	/
		4節 インドの生活・文化	1. インドとその周辺の自然環境 2. インド世界の歩みとヒンドゥー教 3. インドの産業の発展	0.5 5 1	/
		5節 中央アジア・西アジア・北アフリカの生活・文化	1. 中央アジア・西アジア・北アフリカの自然環境 2. 地域の歴史とムスリムの生活 3. 豊かな石油資源と人々の生活	0.5 0.5 1	/
		◎定期考査(中間)			
		6節 サハラ砂漠以	1. サハラ以南のアフリカの自然環境	0.5	

11月		南のアフリカの生活・文化	2. サハラ以南のアフリカの歴史と文化 3. 変わるサハラ以南のアフリカ	5 1	/
	12月	7節 ヨーロッパの生活・文化	1. ヨーロッパの自然環境 2. ヨーロッパの歩みと文化 3. ヨーロッパの産業 4. ヨーロッパの統合 5. 統合による影響と課題	0.5 0.5 1 0.50. 5	/
		8節 ロシアの生活・文化	1. ロシアとその周辺の自然環境 2. ロシアの歴史と社会の変化 3. ロシアの産業と日本との結びつき	0.50. 5 1	/
		9節 アメリカ合衆国の生活・文化	1. アメリカ合衆国とその周辺の自然環境 2. 移民の歴史と多文化社会 3. 大規模な農業とアグリビジネス 4. 先端技術産業の発展と工業の変化	0.5 0.5 1 1	/
10節 ラテンアメリカの生活・文化		1. ラテンアメリカの自然環境 2. 混血社会と多様な文化 3. ラテンアメリカの産業とその変化	0.50. 5 1	/	
11節 オーストラリアの生活・文化		1. オーストラリアとその周辺の自然環境 2. オーストラリアの結びつきの変化 3. 自然を生かした産業	0.5 0.5 1	/	
◎定期考査(期末)					
1月	<4章> 地球的課題と私たち	1節 複雑にからみ合う地球的課題	1. 地球的課題の特性とその解決	0.5	/
		2節 世界の環境問題	1. さまざまな環境問題 2. 熱帯林の破壊とその解決 3. 地球温暖化の現状と対策	0.50. 50.5	/
		3節 世界の資源・エネルギー問題	1. 限りある資源・エネルギー	1	/
		4節 世界の人口問題	1. 人口増加と少子化・高齢化 2. 地域で異なる人口問題	0.50. 5	/
		5節 世界の食料問題	1. 飢餓と飽食	1	/
		6節 世界の都市・居住問題	1. 都市への人口集中と諸問題 2. 地域で異なる都市・居住問題	0.50. 5	/
◎定期考査(学年末)					
3月	第2部 <1章> 身近にあるさまざまな地図	1. 身近な地図とその特色 2. GISのしくみと支える技術 3. GIS技術の活用と地図 4. 目的に合わせた地図の作成	1 0.5 0.2 0.3	/	
	<2章> 日本の自然環境と防災	1. 日本の自然環境 2. 火山災害と防災 3. 地震被害と防災 4. 風水害と防災 5. 身近な地域の防災を考える	1 1 1 0.50. 5	/	
	<3章> 身近な地域の課題と地域調査	1. 地域を調べる課題の設定 2. 課題の調査 3. 調査内容の発表	1 0.50. 5	/	

/ 単元修了日時